

“困った”をハッピーに変えるプランニング授業

支援団体 一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 授業時間 10時間以上(2コマ連続×5回以上)

【団体の概要】

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会は、キャリア教育コーディネーターの活動を促進するとともに、キャリア教育に関心のある人、企業、団体等、学校、行政機関等とのネットワークをつくり、多様な学びの機会を創出することを目的としている団体です。

【特徴】

今回紹介する教育プログラムは、チームでビジネスプランなどの提案を行うものですが、学校と相談しながら、到達目標やテーマを決めて内容をつくっていきます。社会・企業の求める具体的なテーマに対して、情報収集（マーケティングリサーチ）を行うことで、自ら課題を発見する力を養うとともに、チームで一つの課題に取り組むことで、多様な他者と協働する力を養います。

実施したプログラムの例

A高校の例

- **ねらい** (身に付けたい力)
相手の立場に立って考え、分かりやすく伝える力
- **ミッション**
学校・先生の「困った」を解決するプランナーになろう
- **テーマ**
「A高校の良さを、中学生や地域のみなさんに、もっともっと知ってほしい。学校をPRするポスターを作ってください。」

- ①企画・マーケティングの視点を学ぶ。
(ゲスト講師授業)
- ②PRに向けての課題を探る。
マーケティングの視点を活用して、PRの課題と学校の良さを探る。
- ③広告の作り方、PR方法を学ぶ。(ゲスト講師授業)
広告を構成する要素について学び、ポスターのレイアウトを作る。
- ④広告(ポスター)を作る。
- ⑤プレゼンテーション
ポスターを校内に貼り、全校生徒が投票する。
- ⑥振り返り

B高校の例 (NPO法人プラストビートと共同実施)

- **ねらい**
リアルな社会の課題と向き合うことで、身近に存在する社会課題を発見し、解決のために自らが貢献できることに気付く。
- **ミッション**
「2020年東京オリンピックで日本に来るたくさんの外国人がハッピーになるビジネスを提案してください。」

- ①オリエンテーション、ミッションを確認する。
- ②日本に来た外国人にどのようなニーズがあるかの調査
- ③調査結果を確認し、ビジネスプランを考える。
テストマーケティングとしてまわりの人にアンケートやヒアリングを行う。
- ④ビジネスプランをブラッシュアップし、プレゼンテーションの準備
- ⑤プレゼンテーションの練習
クラス内で発表し、投票して相互に評価する。
- ⑥最終プレゼンテーション、振り返り
ゲストの社会人から評価をもらう。



支援者の声

■ 一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 キャリア教育コーディネーター 松倉 由紀さん

企画立案を行うプログラムは、生徒も楽しんで活動できますが、「おもしろかった。」で終わってしまう可能性もあります。大切なのは、これらの体験を通してどのような気付きを得てほしいのか、先生の持つ願いをお聞きし、目標を共有すること。その学校の生徒にどのような学びが必要なのか、外部にいるコーディネーターにはわからないことがたくさんあります。地域・産業界という「学習素材」を、効果的に生かすにはどうしたらいいか、先生方と協力しながらより良い授業を作ることができたらと考えています。